

## 第四章

# グループ運営の 危機から再編へ

(終戦直後から初代トヨペット・クラウン完成まで)

## Chapter 4

# From a crisis in group management to reorganization

(From the post-war to launch of first model Toyopet Crown)

終戦により機械製造関連の需要が無くなり、トヨタグループは、自動車、紡織機、紡績の三事業を推進していく方針を決めます。その後、財閥解体、企業再建整備、民需産業への転換などの影響を受けながらも、グループ各社は生き残りをかけて、懸命に事業に取り組みます。ドッジラインによる不況、経営危機、朝鮮特需による業績の回復を経て、グループは自動車事業を軸にまとまりを見せ始め、やがて、総力をあげて国産技術による独自開発の乗用車「初代トヨペット・クラウン」を完成させます。

After the country was defeated and thus the demand for machine manufacturing sharply plunged, Toyota Group decided to concentrate on the three businesses of automobiles, textile machines, and yarn spinning. Despite the adverse effects of zaibatsu dissolution, corporate restructuring, and conversion to civil industries, each of the Group companies made strenuous efforts for their survival. Through the recession and corporate crisis caused by the Dodge Line policy and the business recovery following Korean special procurement demands, Toyota Group began to focus more on the automotive industry. In time, the companies made a collective effort to complete the first domestically-manufactured, mass-production passenger car, first model “Toyopet Crown.”

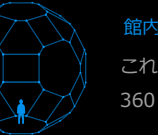
太平洋戦争の終戦を迎えた日本は、戦後復興の時代に入ります。  
戦時中に禁止されていた乗用車生産も、段階を経て制限が解除され、自動車産業の再開が始まりました。  
日本国憲法のもと民主化が進められ、経済的には工業立国の道を歩み始めたのでした。

1945年 終戦  
GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)設置  
財閥解体指令  
自動車協議会発足  
1946年 自動車製造事業法廃止  
労働組合法施行  
企業再建整備法施行  
1947年 日本国憲法施行  
GHQ、覚書により、制限付きで乗用車の生産許可  
1948年 経済安定本部、経済復興五カ年計画を発表  
商工省、自動車工業基本対策を発表  
財政金融引き締め政策(ドッジライン)実施  
1949年 単一為替レート決定(1ドル=360円)  
GHQ、乗用車生産制限解除  
1950年 朝鮮戦争勃発  
1951年 日本初の民間放送ラジオ局が開局  
対日平和条約・日米安全保障条約調印  
1953年 NHKがテレビジョン本放送を開始  
日米友好通商航海条約調印  
日本初の有料道路(松坂～宇治山田)が開通  
1954年 第1回全日本自動車ショウ開催  
名古屋テレビ塔完成  
1955年 東京通信工業(現ソニー)が日本初のトランジスタラジオを発売  
経済自立5カ年計画を閣議決定  
(この頃、電気洗濯機、電気冷蔵庫、掃除機が「三種の神器」と呼ばれる)

館内企画展アーカイブ

# バーチャル展示室

THE VIRTUAL  
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** › <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介しますデジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



**トヨタ産業技術記念館**

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.